



「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第35号をお届けします。

今回は、アンテナ・伝播研究専門委員会の2009年度体制、今年10月にバンコック(タイ)で開催予定のISAP2009、第37回ワークショップについてお知らせします。

【1】2009年度アンテナ・伝播研究専門委員会の体制

電子情報通信学会は、5月に開催される第83回通常総会をもって新年度の体制に移行します。これに伴い、アンテナ・伝播研究専門委員会も新体制に替わります。新しい体制での2009年度上期研究専門委員会は、6月11日(木)に機械振興会館において開催されます。

委員長	伊藤 公一	(千葉大)
副委員長	正源 和義	(NHK)
幹事	陳 強	(東北大)
	廣川 二郎	(東工大)
幹事補佐	西森 健太郎	(NTT)

【2】2009年アンテナ伝播国際シンポジウム (ISAP2009)

アンテナ伝播国際シンポジウム (ISAP) は、米国のAPS、欧州のEuCAPとならび、アジア太平洋地域で開催されるアンテナ、電波伝搬関連の中心的会議として定着しつつあります。昨年10月に台北(台湾)で開催されたISAP2008以降しばらくは海外での開催となる予定で、次に日本に戻ってくるのは2012年の予定です。

さて、ISAP2009の概要は下記のとおりであり、バンコック(タイ)で開催されます。詳細はISAP2009のホームページURLをご覧ください。投稿締切日(6月1日)が迫ってきています。日本からの多くの投稿が期待されておりますので、よろしくお願いいたします。

記

- (1) 日程：2008年10月20日(火) - 23日(金)
- (2) 場所：Imperial Queen's Park Hotel (バンコック, タイ)
- (3) オーガナイザー：Electrical Engineering, Electronics, Computer, Telecommunications and Information Technology (ECTI) Association of Thailand
- (4) 論文投稿締め切り：2009年6月1日(月)
- (5) ISAP2009ホームページURL：<http://www.isap09.org/>

【3】アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第37回)開催案内

第37回ワークショップでは、モーメント法によるアンテナ解析の基礎をテーマとした初級コースを開催します。本講義は、電磁界とアンテナの数値解析に関する研究を行う大学の学部生と大学院生、モーメント法を用いるアンテナの研究開発に携わる企業の技術者を対象として、モーメント法の基礎、線状アンテナに対する具体的な解析方法と解析のポイント、大規模の解析モデルに対する高速モーメント法の基礎の習得を目的とします。実は、正式の申込期間は5/15まででしたが(4月号技報お知らせに掲載するのを忘れておりました)、申込数に余裕があれば5月末頃までは受け付けられるかもしれません。是非参加したいという方は、下記のURLに書かれている申込先までご連絡下さい。

記

- (1) 講師：陳 強(東北大学)
- (2) 日時：2009年6月22日(月) 9:30~17:00
- (3) 会場：東京工業大学大岡山キャンパス 西9号館デジタル多目的ホール
- (4) 受講申込：申し込みの詳細は<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/ws/ws37.html>

【4】AP研委員長退任の挨拶（堀先生）

この5月でAP研委員長を退任することになりました。この2年間、AP研の巨大化に対応するための執行委員会体制の確立、AP研40周年記念事業の一つとして企画したアンテナ工学ハンドブック改訂版の出版、AP研の海外開催などをはじめとして、AP研の多くのアクティビティを誇れる時期に委員長として在任したことを光栄に思います。

この「AP研からのお知らせ」も、始めてから約3年半になります。牧野副委員長のご努力もあって、AP研の信学技報に欠かせないページとなってきました。残念ながら、2006年8月（No. 8）と2007年5月（No. 15）に書いた「rot（黒潮）＝美人」の式の信憑性については、未だ明らかにされていませんが・・・次期の執行部においても、是非このコーナーはお願いしたいと思います。

最後になりましたが、副委員長時代を含めて4年間の活動を支えて頂きましたAP研執行部、専門委員会、顧問会および各種委員会の委員をはじめとするAP研の皆様へ、改めて感謝の意を表します。どうもありがとうございました。今後は、新執行部を支えるべく努力したいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【5】AP研幹事退任の挨拶（岩井先生）

2年間幹事を務めさせて頂きました。多くの失敗がありました皆様へ支えて頂き、大きな仕事を何とか終わることができそうです。大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

かつてはAP研でも発表が多かった時代があったと伺っておりますが、現在は幹事が努力しなくとも多数の発表が集まります。在任中、多くの発表申し込みがあり、開催期間を急ぎよ増やすなどの対応が必要になったことが複数回ありました。幸せな時代に幹事をさせて頂いたのだとつくづく感じています。ただ個人的には、幹事として新しい「エポック」を何も創り出せなかった、という点が心残りです。今後の執行部に期待致します。

幹事になり旅費と飲み代は半端じゃない額を使いましたが、研究会活動を通して多くの方とお知り合いになれたというかけがえのない財産を得ました。今後も引き続き研究会活動に参加し、この御恩をお返ししていきたいと思っております。ありがとうございました。最後に一言、「AP研は永遠に不滅です。」（ちなみに私は阪神ファンです。念のため。）

【6】AP研副委員長の戯言

私も、この5月で副委員長を退任することになりました。この2年間、拙い雑文を読んでいただきまして、まことにありがとうございました。格調高い研究論文の後ろに、何でこんなふざけた文章が載っているのだろうと思われた方も多いたと思いますが、すべて堀先生のご発案、ご責任、ご功績（？）です。

個人的には在任中の2年間に、企業から大学への転職という人生における大きな節目があり、その結果として思うような学会活動ができず、堀委員長をはじめとするAP研の皆様には、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、優しくフォローしていただきましたことに対して厚く御礼申し上げます。

さて、このページを担当したときからの宿題事項である、「rot（黒潮）＝美人」（当初は黒潮ではなく対馬海流だったと思いますが、いつ変わったのでしょうか？）の式の信憑性についてですが、この式には不備があるのではないかと考えています。つまり、「rot（黒潮）」はベクトルを表しており、一方、「美人」はスカラーを表すものと思われます。従って、この式は「(rot（黒潮））・（何かのベクトル）＝美人」と修正すべきではないかと思いがいでしょう。問題は「何かのベクトル」であり、美人が多い場所の条件には、「潮流の渦巻くところ」以外の別の要因を表すベクトルを入れる必要があるということの意味するものだと思います。これにつきましては、後任の正源和義氏に考察していただきましょう。正源さんは、見た目はまじめで怖そうですが、実際は、美人に限らず女性が大好きなちょいワルおやじです。お楽しみに。

<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋（金沢工業大学）

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET : AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>